# 平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | キーコーヒー株式会社 | 上場取引所 | 東 |
| コ ー ド 番 号 | 2594 | URL | http://www.keycoffee.co.jp/ |
| 代　　表　　者 | （役職名） 代表取締役社長 | （氏名） | 柴田　裕 |
| 問合せ先責任者 | （役職名） 財務部長 | （氏名） | 橋口　芳久　(TEL) (03)3433-3311 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成25年11月11日 | 配当支払開始予定日 | 平成25年11月25日 |

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## １．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年３月期第２四半期 | 27,338 | △0.4 | 951 | 117.8 | 1,162 | 110.3 | 719 | 180.5 |
| 25年３月期第２四半期 | 27,460 | 5.3 | 436 | — | 552 | 375.5 | 256 | — |

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　741百万円（ 312.4%）　25年３月期第２四半期　179百万円（ —%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年３月期第２四半期 | 31.72 | — |
| 25年３月期第２四半期 | 11.58 | — |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年３月期第２四半期 | 47,637 | 35,702 | 72.6 |
| 25年３月期 | 46,635 | 35,120 | 72.9 |

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　34,563百万円　　25年３月期　34,010百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年３月期 | — | 5.00 | — | 7.00 | 12.00 |
| 26年３月期 | — | 7.00 | | | |
| 26年３月期(予想) | | | — | 7.00 | 14.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,460 | △0.3 | 1,370 | 44.8 | 1,660 | 28.0 | 1,010 | △7.8 | 44.53 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年３月期２Ｑ | 22,689,000株 | 25年３月期 | 22,689,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 26年３月期２Ｑ | 7,945株 | 25年３月期 | 7,945株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 26年３月期２Ｑ | 22,681,055株 | 25年３月期２Ｑ | 22,134,181株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月1日から平成25年９月30日までの６ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、新政権による経済政策や金融政策により緩やかに回復の兆しが見られたものの、個人消費は低調なまま推移するなど引き続き厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱したものの、穀物類の国際相場は依然として高値を維持しており、更に急激な円安の影響が加わったことで小麦粉や乳製品などの原材料価格の上昇が相次ぐなど、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「ブランド強化」、「収益力の強化」及び「グループ連携強化」を３つの柱として、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発やお取引先との絆を深める企画提案型の営業活動を行いました。

これらの結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は、273億38百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は９億51百万円(同117.8%増)、経常利益は11億62百万円（同110.3%増）となりました。また、四半期純利益は７億19百万円(同180.5%増)となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」(2013年度公益社団法人氷温協会『優秀技術賞』受賞）など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、「カレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などを実施するとともに、「根野菜と豆のキーマカレー」などの新商品を発売しました。

家庭用市場では、春夏商品として「氷温熟成珈琲 マンデリン」と「リッチブレンド」を詰合わせた「ドリップ オン バラエティパック」や手軽にカフェ気分が味わえる「割りカフェ」シリーズに「カフェオレベース 甘さひかえめ」の新商品を投入しました。

ギフト商品では、中元期に「天然水プリズマ飲料ギフト」、「トラジャ＆ブルーマウンテン レギュラーコーヒーギフト」など全34アイテムをラインアップし、前年同期を上回る販売実績となりました。

新たな商品カテゴリーを創出するために市場導入したイタリアのコーヒーメーカーillycafe S.p.A.（イリカフェ社）のカプセルコーヒーシステムにつきましては、６月に日本初となるillyエスプレッソマシンの専門店を近鉄あべのハルカスに出店するなど積極的な提案活動を行いました。

なお、2013年度モンドセレクションにおいて「アロマフラッシュ　鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が３年連続『最高金賞』を受賞し、2013年iTQi（国際味覚審査機構）においては、「真空パック スペシャルブレンド」が２年連続『優秀味覚賞“三ツ星”』を受賞するなど、数々の当社商品が高く評価されました。

この結果、当第２四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は228億８百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は10億74百万円（同105.6%増）となりました。

（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「夏のスイーツフェア」など四季折々の食材を取り入れた季節毎のメニューフェアを実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針に加え新業態店舗の開発を促進することとし、国内では新ブランド「ＩＴカフェ」の第１号店「イオンモールつくば店」などの出店を行い、海外ではＡＳＥＡＮ地域での拡大を進めるとともに、中国に「ケーキショップ　上海久光静安店」、台湾には「スペリオーレ プリーズ台北駅店」を出店するなど、国内外に11店を出店しました。一方、不採算店13店を閉鎖し、店舗数は302店（直営店77店、ＦＣ店225店）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は31億54百万円（前年同期比0.5％減）、営業利益は51百万円（同1.6％増）となりました。

（その他）

その他事業の売上高は13億75百万円（前年同期比23.1％増）、営業利益は１億８百万円（同19.3％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて10億２百万円増加し、476億37百万円となりました。

流動資産は５億78百万円増加し、251億円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加（５億48百万円増）などによるものであります。

固定資産は４億24百万円増加し、225億36百万円となりました。有形固定資産は37百万円増加、投資その他の資産は、投資有価証券の増加（２億62百万円増）などにより３億88百万円増加しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて４億20百万円増加し、119億35百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて４億80百万円増加し、92億81百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が増加（11億35百万円増）、短期借入金の減少（２億58百万円減）、未払金の減少（１億92百万円減）などによるものであります。

固定負債は60百万円減少し、26億54百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて５億81百万円増加し、357億２百万円となりました。これは利益剰余金の増加（５億60百万円増）などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、平成25年10月28日公表の「平成26年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,883 | 9,772 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,683 | 7,232 |
| 有価証券 | 5,087 | 5,088 |
| 商品及び製品 | 1,150 | 1,281 |
| 仕掛品 | 158 | 163 |
| 原材料及び貯蔵品 | 863 | 856 |
| 繰延税金資産 | 371 | 351 |
| その他 | 350 | 382 |
| 貸倒引当金 | △26 | △28 |
| 流動資産合計 | 24,522 | 25,100 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,137 | 6,040 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,650 | 1,642 |
| 土地 | 6,315 | 6,315 |
| その他（純額） | 660 | 802 |
| 有形固定資産合計 | 14,764 | 14,801 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 140 | 123 |
| その他 | 314 | 330 |
| 無形固定資産合計 | 454 | 454 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,814 | 5,076 |
| 長期貸付金 | 157 | 143 |
| 繰延税金資産 | 18 | 21 |
| 差入保証金 | 1,695 | 1,706 |
| その他 | 478 | 608 |
| 貸倒引当金 | △271 | △276 |
| 投資その他の資産合計 | 6,893 | 7,281 |
| 固定資産合計 | 22,112 | 22,536 |
| 資産合計 | 46,635 | 47,637 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,629 | 5,765 |
| 短期借入金 | 410 | 152 |
| 未払金 | 1,336 | 1,143 |
| 未払法人税等 | 653 | 551 |
| 賞与引当金 | 586 | 623 |
| その他 | 1,184 | 1,045 |
| 流動負債合計 | 8,800 | 9,281 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 15 | 30 |
| 繰延税金負債 | 21 | 22 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 557 | 557 |
| 退職給付引当金 | 1,249 | 1,232 |
| 資産除去債務 | 257 | 259 |
| その他 | 612 | 552 |
| 固定負債合計 | 2,714 | 2,654 |
| 負債合計 | 11,514 | 11,935 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,628 | 4,628 |
| 資本剰余金 | 5,037 | 5,037 |
| 利益剰余金 | 27,369 | 27,929 |
| 自己株式 | △13 | △13 |
| 株主資本合計 | 37,022 | 37,582 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 614 | 603 |
| 土地再評価差額金 | △3,623 | △3,623 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,012 | △3,019 |
| 少数株主持分 | 1,110 | 1,139 |
| 純資産合計 | 35,120 | 35,702 |
| 負債純資産合計 | 46,635 | 47,637 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 27,460 | 27,338 |
| 売上原価 | 19,477 | 19,041 |
| 売上総利益 | 7,982 | 8,296 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費及び見本費 | 547 | 543 |
| 荷造運搬費 | 531 | 539 |
| 車両費 | 247 | 255 |
| 貸倒引当金繰入額 | 32 | 15 |
| 役員報酬 | 182 | 160 |
| 給料及び賞与 | 2,827 | 2,705 |
| 賞与引当金繰入額 | 356 | 483 |
| 退職給付費用 | 220 | 93 |
| 福利厚生費 | 479 | 499 |
| 賃借料 | 583 | 559 |
| 減価償却費 | 196 | 170 |
| 消耗品費 | 175 | 180 |
| 研究開発費 | 106 | 107 |
| その他 | 1,055 | 1,031 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 7,546 | 7,344 |
| 営業利益 | 436 | 951 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22 | 14 |
| 受取配当金 | 55 | 117 |
| 持分法による投資利益 | 0 | 37 |
| 受取家賃 | 21 | 23 |
| その他 | 37 | 33 |
| 営業外収益合計 | 137 | 224 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 5 |
| 為替差損 | 8 | 4 |
| その他 | 3 | 3 |
| 営業外費用合計 | 21 | 13 |
| 経常利益 | 552 | 1,162 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 7 | 130 |
| 負ののれん発生益 | 5 | － |
| 受取賠償金 | 9 | 12 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 23 | 142 |

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 8 | － |
| 投資有価証券評価損 | 16 | － |
| 特別損失合計 | 24 | － |
| 税金等調整前四半期純利益 | 550 | 1,305 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 393 | 529 |
| 法人税等調整額 | △121 | 25 |
| 法人税等合計 | 272 | 555 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 278 | 749 |
| 少数株主利益 | 22 | 30 |
| 四半期純利益 | 256 | 719 |

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 278 | 749 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △98 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | △0 | 2 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 0 |
| その他の包括利益合計 | △98 | △7 |
| 四半期包括利益 | 179 | 741 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 158 | 711 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 21 | 30 |

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 550 | 1,305 |
| 減価償却費 | 634 | 595 |
| 負ののれん発生益 | △5 | ― |
| 固定資産売却損益（△は益） | 7 | 0 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △7 | △130 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 16 | ― |
| 受取賠償金 | △9 | △12 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △0 | 7 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 175 | 37 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 128 | △22 |
| 受取利息及び受取配当金 | △77 | △131 |
| 支払利息 | 8 | 5 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △0 | △37 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △398 | △544 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 158 | △127 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 450 | 1,135 |
| 未払金の増減額（△は減少） | △42 | △155 |
| その他 | 175 | △168 |
| 小計 | 1,762 | 1,757 |
| 利息及び配当金の受取額 | 73 | 124 |
| 持分法適用会社からの配当金の受取額 | ― | 11 |
| 利息の支払額 | △8 | △5 |
| 受取賠償金の受取額 | 9 | 10 |
| 法人税等の支払額 | △257 | △633 |
| 法人税等の還付額 | 44 | 0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,623 | 1,263 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | ― | △2,000 |
| 有価証券の取得による支出 | △4,000 | △4,500 |
| 有価証券の償還による収入 | 4,000 | 4,500 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △264 | △567 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 462 | 449 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △317 | △597 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 7 | 2 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △82 | △34 |
| その他 | 55 | △175 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △138 | △2,922 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 73 | 102 |
| 短期借入金の返済による支出 | ― | △338 |
| 長期借入れによる収入 | ― | 40 |
| 長期借入金の返済による支出 | △96 | △53 |
| 配当金の支払額 | △110 | △159 |
| その他 | △51 | △46 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △185 | △455 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1 | 3 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,297 | △2,110 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,945 | 10,270 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,243 | 8,159 |

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額（注２） | 四半期連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | コーヒー関連事業 | 飲食関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,172 | 3,170 | 26,343 | 1,117 | 27,460 | ― | 27,460 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 226 | 25 | 252 | 779 | 1,031 | △1,031 | ― |
| 計 | 23,399 | 3,195 | 26,595 | 1,896 | 28,491 | △1,031 | 27,460 |
| セグメント利益 | 522 | 50 | 573 | 91 | 664 | △227 | 436 |

（注）　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △２億27百万円には、セグメント間取引消去 ４百万円、棚卸資産の調整額 26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △２億58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額（注２） | 四半期連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | コーヒー関連事業 | 飲食関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,808 | 3,154 | 25,962 | 1,375 | 27,338 | ― | 27,338 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 236 | 1 | 237 | 627 | 864 | △864 | ― |
| 計 | 23,044 | 3,155 | 26,200 | 2,002 | 28,202 | △864 | 27,338 |
| セグメント利益 | 1,074 | 51 | 1,125 | 108 | 1,234 | △283 | 951 |

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △２億83百万円には、セグメント間取引消去 ２百万円、棚卸資産の調整額 13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △２億99百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。